



## デジタルスチルカメラ

## スタートガイド



## △警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## Cyber-shot

## DSC-RX0M2

## △警告 安全のために

→ 裏面もあわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など  
人への危険、また火災などの財産への損害を未然に防  
止するため、次のことを必ずお守りください。

## 「安全のために」の注意事項を守る

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこり  
がたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障  
したまま使用していないかなどを点検してください。

## 故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーな  
どの動作がおかしくなったり、破損していることに気  
がいたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・  
においがしたら  
煙が出たら

- ① 電源を切る
- ② 電池をはずす
- ③ 相談窓口に連絡する

裏面に相談窓口の連絡先があります。

## △危険 万一、電池の液漏れが起きたら

① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や氣  
体に引火して発火、破裂のおそれがあります。

② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水な  
どきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を  
受けしてください。

③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で  
口を洗浄し、医師に相談してください。

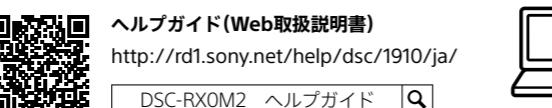
④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流  
してください。

## 電池について

安全のためにの中の「電池」とは、  
「バッテリーパック」も含みます。

## 本機のマニュアルについて

このスタートガイドは、本機をはじめてお使いになるときに必要な準備、基本的な使いかたなどを説いています。  
詳しい使いかたは、ヘルプガイド（Web取扱説明書）をご覧ください。



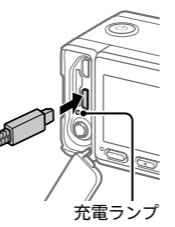
ヘルプガイド（Web取扱説明書）  
http://rd1.sony.net/help/dsc/1910/ja/

DSC-RX0M2 ヘルプガイド

## バッテリーを充電する

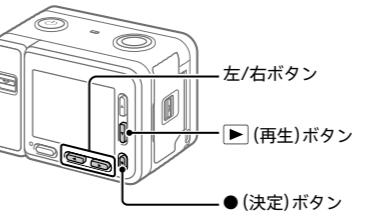
## 1 カメラの電源を切る。

カメラの電源を入れた状態では、充電はおこなわれません。

2 バッテリーを入れたカメラとACアダプター  
(付属)をマイクロUSBケーブル(付属)でつな  
ぎ、ACアダプターをコンセントに差し込む。  
充電が始まると、カメラの充電ランプが点灯します。充  
電ランプが消したら、充電完了です。

充電ランプ

## 再生する

1 □(再生)ボタンを押して、  
再生モードにする。

左/右ボタン

□(再生)ボタン

●(決定)ボタン

## 2 左/右ボタンで画像を選ぶ。

動画を再生するには、●(決定)ボタンを押してください。

## 不要な画像を選んで削除する

MENUボタンを押して、□(再生) → [削除] → [画像選択]で削除したい画像を選び、  
●(決定)ボタンを押します。

一度削除した画像は、元に戻せません。削除してよいか、事前に確認してください。

## パソコンで写真を管理・編集する

マイクロUSBケーブルを使ってカメラとパソコンを接続したり、カメラのメモリーカードをパソコンに入れることで、撮影した画像をパソコンに取り込むことができます。  
また、以下のパソコン用ソフトウェアを使うことで撮影した写真や動画をより楽しむこ  
とができます。

## PlayMemories Home

撮影した静止画、動画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。XAVC S動画や  
AVCHD動画をパソコンに取り込む場合は、PlayMemories Homeが必要です。

## Imaging Edge

Imaging Edgeは、パソコンからカメラを操作するリモート撮影や、カメラで撮影した  
RAW画像の調整・現像などの機能を含む、ソフトウェアシリーズです。

パソコン用ソフトウェアについて詳しくは、以下のURLをご覧ください。  
https://www.sony.net/disoft/

## 準備する

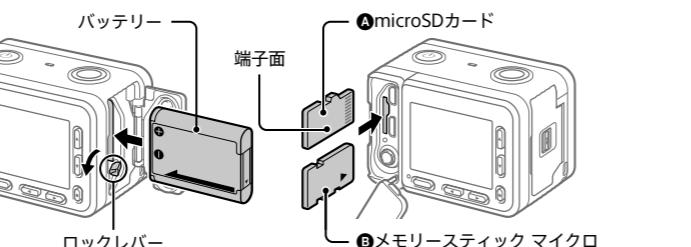
## 付属品を確認する

( )内の数字は個数です。

- カメラ (1)
- リチャージャブルバッテリーパック NP-BJ1 (1)
- マイクロUSBケーブル (1)
- ACアダプター (1)
- リストストラップ (1)
- メモリーカードプロテクター (1)
- スタートガイド(本書) (1)
- 保証書 (1)

## バッテリー(付属)/メモリーカード(別売)を入れる

バッテリーカバーと、メモリーカード/端子カバーを開けてバッテリーとメモリーカード  
を入れた後、カバーのつまみの黄色いマークが見えなくなるまでしっかりと閉じてくだ  
さい。



## バッテリー

バッテリーの向きを確認し、ロックレバーを押しながら入れます。

## メモリーカード

microSDカード/microSDHCカード/microSDXCカード：イラストのⒶの向きにまっすぐ  
入れてください。

メモリースティック マイクロ：イラストのⒷの向きに入れてください。

このカメラはmicroSDカードまたはメモリースティック マイクロに対応しています。  
使用できるメモリーカードについて詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

メモリーカードの動作を安定させるために、このカメラではじめてお使いになるメモ  
リーカードは、まず、カメラでフォーマット(初期化)してください。

## ご注意

この表示のある事項を守らないと、思われる危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危険が発生  
することができます。

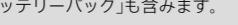
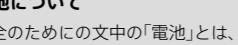
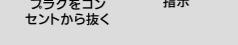
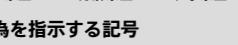
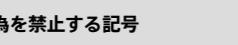
## △警告

この表示のある事項を守らないと、思われる危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危険が発生  
することができます。

## △注意

この表示のある事項を守らないと、思われる危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

## 注意を促す記号



# 本機について／使用上のご注意

## お使いになる前に必ずお読みください

ヘルプガイドの「使用上のご注意」、「防水/防じん・耐衝撃性能について」もあわせてお読みください。

表示言語について  
本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

## 防水/防じん・耐衝撃性能について

本機は防水/防じん性能、耐衝撃性能を強化していますが、誤った使いかたによる故障は保証の対象外となります。

- JIS保護等級IP68相当の防水/防じん性能があります。水深10 m/60分までの撮影が可能です。
- 耐衝撃性能はMIL-STD810G C1 Method 516.7-Shock（米・国防省衝撃テスト基準）に準拠した厚さ5cmの合板上で2.0 mからの落下にて当社内部テストをクリアしております。\*  
\*カメラのモニター位置を閉じた状態にて実施。モニターを引き出したときなど、すべての状態において無破損・無故障・防水/防じん性能を保証するものではありません。
- 耐衝撃性能については、傷やへこみがつかないことを保証するものではありません。
- 落下などの強い衝撃を与えた場合は、防水/防じん性能を保証しません。修理相談窓口での点検をおすすめします(有料)。
- 付属品は防水/防じん・耐衝撃仕様ではありません。
- ヘルプガイドの「防水/防じん・耐衝撃性能について」も必ずお読みください。

## 本機の取り扱いについてのご注意

- レンズを絶対に太陽や強い光源に向けたままでしないでください。レンズの集光作用により、発煙、火災、ボディやレンズ内部の故障の原因になります。
- レンズに向けてレーザーなどの光線を直接照射しないでください。イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。
- 本機や付属品などは乳幼児の手の届く場所に置かないでください。付属品やメモリーカードなどを飲みこむ恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

## モニターについてのご注意

モニターは有効画素99.99%以上の非常に高精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えいることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

## 連続撮影時のご注意

連続撮影時、モニターに撮影画面と黒い画面がしばらく交互に表示されることがあります。このとき、モニターを見続けることにより、体温不良などの不快な症状が出る可能性があります。不快な症状が出たときは、本機の使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。

## 長時間撮影および4K動画撮影についてのご注意

- ご使用中に本体およびバッテリーが温かくなりますが故障ではありません。
- 使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くなったり水ぶくれができるなど低温やけどの原因となる場合があります。以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。  
- 気温の高い環境でご使用になる場合  
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合  
- 自動電源OFF温度を「高」に設定してご使用になる場合

## [自動電源OFF温度] [高] 設定時のご注意

【自動電源OFF温度】を「高」に設定すると、通常より記録時間を長くすることができますが、それにより本機が熱くなることがあります。  
[高] 設定時は本機を持ちて撮影せず、三脚などをご利用ください。

## ソニー製純正アクセサリーをお使いください

本機を他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故、故障につきましては保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

## 著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

位置情報についてのご注意  
位置情報を付加した画像をインターネットに公開、共有すると、意図せずに撮影場所が第三者に知られる場合があります。その場合は、[位置情報連動設定]を[切]にして撮影してください。

## 本機の廃棄/譲渡についてのご注意

個人情報保護のため、本機を廃棄・譲渡するときには以下の操作を行ってください。

• [設定リセット] → [初期化]

## メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

## ワイヤレスLANに関するご注意

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

## ワイヤレスLAN 製品ご使用時におけるセキュリティについて

- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

## 無線に関連する機能(Wi-Fiなど)を一時に無効にする

無線に関する機能は、「飛行機モード」で一時に無効にできます。

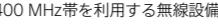
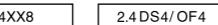
## この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2. 万一、本製品ど「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。

3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何か困りのことが起きたときは、相談窓口へ問い合わせください。



2.4 : 2400 MHz帯を利用する無線設備を表します。

DS/OF/XX : 変調方式が DS-SS/OFDM/その他の方式、であることを示します。

4 : 想定される干渉距離が40 m以下であることを示します。

8 : 想定される干渉距離が80 m以下であることを示します。

■ ■ ■ : 2400 MHz ~ 2483.5 MHz の全体域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを示します。

■ ■ ■ : 2400 MHz ~ 2483.5 MHz の全体域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。

## ACアダプター/チャージャーについて

ACアダプター/チャージャーは、お手なコンセントをお使いください。不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。充電ランプがある機種は、ランプが消えても電源からは遮断されません。

## 認証マークの表示について

本機が対応している認証マークの一部は、本機の画面上で確認することができます。

MENU → ■ (セットアップ) → [認証マーク表示]を選択してください。

本機の故障などの問題により表示できない場合は、相談窓口にご相談ください。

## 保証書とアフターサービス

### 必ずお読みください

#### 記録内容の補償はできません

万一本機やメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

#### 保証書は国内に限られています

このカメラは国内仕様です。国外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

#### 保証書

- この製品には保証書は添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項は記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

#### アフターサービス

##### 調子が悪いときはまずチェックを

ヘルプガイドなどを参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

#### 部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

#### 部品の保有期間について

当社はカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後5年間保有しています。ただし、故障の状況、その他の事情により、修理に代えて製品を交換する場合がありますので、ご了承ください。

#### 位置情報についてのご注意

位置情報を付加した画像をインターネットに公開、共有すると、意図せずに撮影場所が第三者に知られる場合があります。その場合は、[位置情報連動設定]を[切]にして撮影してください。

## 主な仕様

### 本体

Model No. WFW151602

定格 : 3.7 V ■ ■ ■ 1.3 W

動作温度 : 0 ~ 40°C

保存温度 : -20 ~ 55°C

外形寸法(幅×高さ×奥行き)(約) :

59.0 × 40.5 × 35.0 mm

質量 : 約132 g

(バッテリー、microSDカードを含む)

### リチャージャブルバッテリー

NP-BJ1

定格 : 3.7 V ■ ■ ■

カメラや付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

### ACアダプター

AC-UUD12

定格入力 : 100 ~ 240 V ~、50/60 Hz、0.2 A

定格出力 : 5 V ■ ■ ■ 1.5 A

## 商標について

• XAVC Sおよび XAVC S はソニー株式会社の登録商標です。

• AVCHDおよびAVCHDロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

• iPadは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

• iPhoneの商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。

• Android、Google PlayはGoogle LLCの登録商標または商標です。

• Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

• QRコードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です。

• その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していない場合があります。

△ 注意 火災 感電 下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。



禁止



禁止



指示

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やはごり、油煙、湯気の多い場所では使わない



禁止

不安定な場所に置かない



禁止

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない



禁止

長時間使用しない



禁止

分解や改造をしない



禁止

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない



禁止

火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない



禁止

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

